

2016年3月期 通期決算説明会

2016年4月28日
日本郵船株式会社



NYK *LINE*
NIPPON YUSEN KAISHA

目 次

1) 2016年3月期 通期決算概要	P.2 – 5
2) 2017年3月期 通期業績予想	P.6 – 8
3) セグメント別状況	P.9 – 14
4) 財務状況	P.15
5) 運航船舶	P.16

1. 2016年3月期通期決算概要

➤ 対前年度比 減収減益

- ・ コンテナ船・ドライバルカー市況の下落、低迷が燃料油安メリット、コスト削減効果を上回る
 - 定期船 減益
 - 不定期専用船 減益
 - ドライバルク部門 市況低迷
 - リキッド部門 市況好調、 契約更改による収益改善
- ・ 航空運送、物流は増益
- ・ 営業外利益(NET) 減少 { 持分法利益等の良化
為替差損益の悪化

➤ 特別損益項目

- ・ クリスタルクルーズ社 売却
- ・ ドライバルカー 売船、期限前返船、減損処理

➤ BS健全化の進捗は順調(有利子負債減少、DER改善)

通期決算(サマリー)

- * 9月以降の急速な市況悪化に伴い、業績に急ブレーキがかかり減収減益
- * ドライバルカーで、売船、期限前返船、減損処理を実施

(億円)	15/3期					16/3期					通期増減	前回予想4Q	前回予想比増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期			
売上高	5,823	5,967	6,037	6,189	24,018	5,887	6,095	5,683	5,056	22,723	▲ 1,295	5,535	▲ 478
営業損益	115	163	130	252	661	174	211	85	17	489	▲ 172	39	▲ 21
経常損益	120	247	248	224	840	215	212	133	40	600	▲ 239	100	▲ 59
親会社株主に 帰属する 当期純利益	102	97	84	191	475	430	117	▲ 319	▲ 45	182	▲ 293	22	▲ 67

為替レート ¥102.40 ¥102.65 ¥112.34 ¥119.36 ¥109.19 ¥120.97 ¥122.56 ¥121.23 ¥118.37 ¥120.78 ¥11.59 ¥120.00

燃料油価格 \$616.36 \$610.64 \$574.02 \$428.10 \$557.28 \$357.71 \$349.69 \$276.00 \$211.22 \$298.66 -\$258.62 \$220.00

□ 配当： 年間6円(中間4円+期末2円)を予定(前年度比1円減配)

前年同期比較(セグメント別)

16/3期通期決算

	事業 セグメント (億円)	15/3期					16/3期					通期増減	前回予想 4Q	前回予想 比増減
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期			
一般貨物輸送事業	定期船	1,668 ▲ 1	1,772 51	1,713 10	1,809 37	6,963 98	1,841 39	1,940 38	1,686 ▲ 69	1,594 ▲ 11	7,063 ▲ 3	100 ▲ 101	1,682 ▲ 9	▲ 87 ▲ 2
	航空運送	223 ▲ 22	240 ▲ 11	268 20	259 19	991 6	246 8	242 1	238 12	183 ▲ 6	911 15	▲ 80 8	213 ▲ 1	▲ 29 ▲ 5
	物流	1,098 14	1,167 28	1,272 30	1,331 34	4,869 107	1,234 23	1,260 37	1,299 41	1,170 16	4,965 118	95 10	1,206 24	▲ 35 ▲ 7
	(単純合計)	2,990 ▲ 10	3,179 68	3,254 62	3,400 92	12,823 213	3,323 71	3,443 77	3,224 ▲ 15	2,947 ▲ 1	12,939 131	115 ▲ 81	3,100 14	▲ 152 ▲ 15
不定期専用船事業	不定期専用船	2,525 119	2,454 155	2,492 181	2,487 144	9,958 600	2,375 144	2,456 128	2,269 137	1,921 56	9,022 465	▲ 935 ▲ 134	2,200 101	▲ 278 ▲ 44
事業その他	不動産	24 9	24 8	23 8	23 6	95 32	23 7	25 9	24 8	24 7	97 33	2 1	28 5	▲ 3 2
	その他※	570 5	582 19	525 1	517 ▲ 10	2,195 15	378 ▲ 1	386 2	365 8	339 ▲ 9	1,470 0	▲ 725 ▲ 15	420 ▲ 8	▲ 80 0
	消去・全社	▲ 286 ▲ 4	▲ 272 ▲ 4	▲ 258 ▲ 4	▲ 237 ▲ 8	▲ 1,054 ▲ 21	▲ 213 ▲ 5	▲ 216 ▲ 6	▲ 200 ▲ 5	▲ 177 ▲ 12	▲ 807 ▲ 29	247 ▲ 8	▲ 211 ▲ 9	33 ▲ 3
	連結	5,823 120	5,967 247	6,037 248	6,189 224	24,018 840	5,887 215	6,095 212	5,683 133	5,056 40	22,723 600	▲ 1,295 ▲ 239	5,535 100	▲ 478 ▲ 59

※ (上段)売上高 (下段)経常損益

- 定期船は、貨物需要が下期も弱くスポット運賃の更なる低下により前年度比減益
- 不定期専用船は、BDIが過去最低を更新するなど著しく低迷したドライ部門の減益が、市況の好調なタンカーの増益を上回った

- * 円安、燃料油安の外部環境の改善とコスト削減努力を、
海運市況の大幅下落と為替差損益等の悪化が打消し、前年度比減益

(億円)

円安	127	今期 120.78円/\$、11.59円の円安
燃料油安	336	今期 \$298.66/MT、\$258.62の下落
海運市況変動等	▲ 574	
コスト削減	97	
為替差損益	▲ 186	
その他	▲ 39	
合計	▲ 239	

2. 2017年3月期通期業績予想

- 運賃安定型事業からの利益は概ね計画通りに確保するも、市況低迷や円高を主因に**減収減益**を予想

定期船 減益

- ・ 2016年度は現行アライアンス体制を維持
- ・ 市況の急回復は見通せず
- ・ 運賃水準の低迷による収益悪化が、大型船投入、航路再編・撤退等によるコスト削減効果を上回る

不定期専用船 減益

- ・タンカー市況の軟化等によるリキッド部門の収支悪化や自動車輸送台数の減少による影響が、ドライバルカー構造改革による収支改善効果を上回る

- 配当： 通期4円(中間 2円 + 期末 2円)を予想

- 為替レート、燃料油価格の前提及び経常利益に対する感応度

為替レート : ¥110/\$、 1円の円安で約7億円/年の増益

燃料油価格 : \$200/MT、 \$10/MTの価格下落で約11億円/年の増益

通期業績予想(サマリー)

17/3期業績予想

* 市況耐性向上の施策を着実に進めつつ、当期は減収減益なるも安定配当は堅持

(億円)	16/3期(実績)				通期	17/3期(予想)			通期 増減
	上期		下期			上期	下期	通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q					
売上高	11,982		10,740		22,723	10,900	10,900	21,800	▲ 923 -4%
	5,887	6,095	5,683	5,056					
営業損益	386		103		489	105	170	275	▲ 214 -44%
	174	211	85	17					
経常損益	427		173		600	150	200	350	▲ 250 -42%
	215	212	133	40					
親会社株主に 帰属する 当期純利益	547		▲ 365		182	50	100	150	▲ 32 -18%
	430	117	▲ 319	▲ 45					

為替レート ¥120.97 ¥122.56 ¥121.23 ¥118.37 ¥120.78 ¥110.00 ¥110.00 ¥110.00 ¥-10.78

燃料油価格 \$357.71 \$349.69 \$276.00 \$211.22 \$298.66 \$200.00 \$200.00 \$200.00 -\$98.66

□ 経常利益に対する感応度

為替レート : 1円の円安で約7億円/年の増益

燃料油価格 : \$10/MTの燃料油価格下落で約11億円/年の増益

□ 配当: 年間4円(中間2円+期末2円)を予想

通期業績予想(セグメント別)

17/3期業績予想

	事業 セグメント (億円)	16/3期（実績）							17/3期（予想）			通期 増減
								通期	上期	下期	通期	
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期					
一般貨物輸送事業	定期船	1,841 39	1,940 38	3,782 78	1,686 ▲ 69	1,594 ▲ 11	3,280 ▲ 81	7,063 ▲ 3	3,510 ▲ 25	3,420 ▲ 25	6,930 ▲ 50	▲ 133 ▲ 47
	航空運送	246 8	242 1	489 9	238 12	183 ▲ 6	421 5	911 15	425 ▲ 5	425 15	850 10	▲ 61 ▲ 5
	物流	1,234 23	1,260 37	2,495 60	1,299 41	1,170 16	2,469 58	4,965 118	2,470 50	2,510 70	4,980 120	15 2
	(単純合計)	3,323 71	3,443 77	6,767 148	3,224 ▲ 15	2,947 ▲ 1	6,172 ▲ 17	12,939 131	6,405 20	6,355 60	12,760 80	▲ 179 ▲ 51
不定期 専用船 事業	不定期 専用船	2,375 144	2,456 128	4,831 272	2,269 137	1,921 56	4,191 193	9,022 465	4,135 100	4,165 130	8,300 230	▲ 722 ▲ 235
その他 事業	不動産	23 7	25 9	48 17	24 8	24 7	49 16	97 33	45 20	50 15	95 35	▲ 2 2
	その他	378 ▲ 1	386 2	765 0	365 8	339 ▲ 9	705 ▲ 1	1,470 0	730 20	745 10	1,475 30	5 30
	消去・全社	▲ 213 ▲ 5	▲ 216 ▲ 6	▲ 429 ▲ 11	▲ 200 ▲ 5	▲ 177 ▲ 12	▲ 377 ▲ 18	▲ 807 ▲ 29	▲ 415 ▲ 10	▲ 415 ▲ 15	▲ 830 ▲ 25	▲ 23 4
	連結	5,887 215	6,095 212	11,982 427	5,683 133	5,056 40	10,740 173	22,723 600	10,900 150	10,900 200	21,800 350	▲ 923 ▲ 250

※ (上段)売上高 (下段)経常損益

- 定期船はコンテナ運賃下落により減益となるも、物流事業は引き続き堅調に推移
- タンカー市況の軟化等によるリキッド部門の収支悪化や自動車輸送台数の減少による影響が、ドライバルカー構造改革による収支改善効果を上回り、減収減益を見込む

3. セグメント別状況

【定期船事業】

- 北米・欧州ともにアジア発の輸送需要全体は拡大する一方、船腹供給の伸び率は近年の最低水準まで縮小する見通し
- 積高増加、消席率の改善、地道なコスト削減等により収益改善を図る

【航空運送事業】

- Yield低迷を燃料油安、積高増で補い、3期連続の黒字を目指す

【ドライバルク部門】

- 史上最低レベルの運賃市況は底を打ち、スクラップの進展等による需給引締め効果もあり、緩やかな市況回復を見込む

【リキッド部門】

- タンカー市況 新造船竣工量の増加により、非常に好調であった前年度比ではある程度の軟化を見込む

1. 定期船事業 – コンテナ船:

輸送量・スペース(1,000 TEU)

		15/3期 (実績)	16/3期(実績)					前回 予想比	17/3期(予想)			前期比 増減
			1Q	2Q	3Q	4Q	通期		上期	下期	通期	
アジア →北米	輸送量	718	189	213	191	175	769	▲ 16	410	399	809	40
	スペース	774	203	227	211	201	842	▲ 2	438	432	870	28
	消席率	93%	93%	94%	91%	87%	91%	-2%	94%	92%	93%	2%
アジア →欧州	輸送量	574	124	140	123	121	508	▲ 2	271	257	528	20
	スペース	605	146	143	126	132	547	8	280	270	550	3
	消席率	95%	85%	98%	97%	92%	93%	-2%	97%	95%	96%	3%

運賃推移 (指数表示 09/3期 1Q=100)

		15/3期 (実績)	16/3期(実績)					前回 予想比	17/3期(予想)			前期比 増減
			1Q	2Q	3Q	4Q	通期		上期	下期	通期	
アジア→北米		91	89	87	83	81	85	0	76	76	76	▲ 9
アジア→欧州		70	58	54	48	49	52	1	48	49	48	▲ 4

- ・ 積高 マーケット全体の成長に応じた輸送量の増加を図る
北米:+ 5.2%増 欧州:+ 3.9%増
- ・ 運賃 現状レベルからの一定の回復を見込むも、大幅な上昇は想定せず

2. 航空運送事業(NCA)

	15/3期 (実績)	16/3期(実績)						17/3期(予想)		
		上期		下期		通期		上期	下期	通期
		1Q	2Q	3Q	4Q					
売上高 (億円)	991	489		421		911		425	425	850
		246	242	238	183					
経常損益 (億円)	6	9		5		15		▲ 5	15	10
		8	1	12	▲ 6					
輸送重量 千トン	470	244		217		461		251	239	489
		122	122	115	101					
輸送量(RTK) 百万トンキロ	2,895	1,513		1,353		2,866		1,563	1,492	3,055
		761	752	721	632					
供給量(ATK) 百万トンキロ	3,988	2,135		2,035		4,170		2,240	2,140	4,380
		1,048	1,087	1,052	982					
YIELD指数 09/3期 1Q=100	98	92		88		90		77	82	80
		94	91	95	79					
MOPS US\$ per (ジェット燃料) bbl	\$99	\$68		\$48		\$58		\$45	\$45	\$45
		\$75	\$61	\$55	\$42					

- ・ 16/3期: 4Qは旧正月、期末前の荷動き盛り上がりなし
- ・ 17/3期: Yield低迷を燃料油安、積高増で補い、3期連続の黒字を目指す

3. 物流事業

(億円)	15/3期 (実績)	16/3期(実績)					17/3期(予想)		
		上期		下期		通期	上期	下期	通期
		1Q	2Q	3Q	4Q				
売上高	4869	2,495		2,469		4,965	2,470	2,510	4,980
		1,234	1,260	1,299	1,170				
経常損益	107	60		58		118	50	70	120
		23	37	41	16				

- ・16/3期は海上貨物の取扱が堅調
 コントラクト・ロジスティクスでは業務改革の効果が発現
- ・17/3期も取扱量は順調に推移する見込み

4. 不定期専用船事業 - 1)ドライバルカー・タンカー市況動向:

		15/3期 (実績)	16/3期 (実績)					17/3期 (予想)		
			1Q	2Q	3Q	4Q	通期	上期	下期	通期
ドライバルカー	B D I	917	632	974	640	359	649	808	880	844
	Cape (5TC)※	12,005	5,784	12,647	8,076	2,728	7,309	9,000	11,000	10,000
	Panamax (Pac)	6,335	4,650	6,601	4,258	3,116	4,656	6,000	6,500	6,250
	Handymax (Pac)	8,142	6,058	6,700	5,204	3,523	5,371	6,250	6,250	6,250
	Handy (Pac)	6,755	4,618	4,838	4,302	3,317	4,269	5,250	5,250	5,250
タンカー	VLCC	35,208	62,411	54,951	87,296	57,956	65,653	42,500	37,500	40,000

※今回より、Cape指標は従来の4TCに代えて5TCを採用

※ドライバルク船型別市況(スポット傭船料) 5TC = 5航路平均、Pac = 太平洋ラウンド 単位 = \$/day

【ドライバルカー】

史上最低レベルの運賃市況は底を打ち、スクラップの進展等による需給引締め効果もあり、緩やかな市況回復を見込む

【タンカー】

堅調な荷動きが見込まれるも、新造船の竣工量増加により市況の軟化を見込む

4. 不定期専用船事業 -2) 自動車船:

自動車輸送台数

	15/3期 (実績)	16/3期（実績）				通期	17/3期（予想）		
		上期		下期			上期	下期	通期
		1Q	2Q	3Q	4Q				
輸送台数 (万台)	365	188		182		370	176	177	353
		94	94	98	84				
前年同期比	2%	2%		0%		1%	-6%	-3%	-5%
		1%	4%	5%	-6%				

- ・16/3期の輸送台数はほぼ想定通り順調に推移
- ・17/3期は新興国や資源国を中心に需要が伸び悩む

	14/3期末 (実績)	15/3期末 (実績)	16/3期末 (前回予想)	16/3期末 (実績)	17/3期末 (予想)
有利子負債（億円）	12,419	10,983	10,000	9,405	10,000
自己資本（億円）	7,202	8,103	8,300	7,736	7,800
自己資本比率	28%	32%	33%	34%	34%
DER	1.72	1.36	1.20	1.22	1.28
ROE	4.8%	6.2%	5.7%	2.3%	2.0%
営業CF（億円）	1,365	1,364	1,400	1,428	1,000
投資CF（億円）	64	267	▲ 1,000	▲ 468	▲ 2,000
（減価償却費）（億円）	（1,059）	（1,010）	（1,000）	（1,033）	（1,000）

16/3期:

- ・ 有利子負債削減の進捗は順調。自己資本比率、DERも改善

17/3期:

- ・ 投資CFが増加し、単年度ではフリーCFが赤字となるが、中計初年度からの累計では黒字

運航船舶

運航船舶

事業 セグメント	船種	15/3期末(実績)			16/3期末(実績)					
		所有(含共有)	傭船	運航船合計	所有(含共有)		傭船		運航船合計	
		隻数	隻数	隻数	隻数	DWT	隻数	DWT	隻数	DWT
定期船 事業	コンテナ船	20	84	104	19	1,143	80	4,676	99	5,820
不定期 専用船 事業	ケープサイズバルカー	36	87	123	31	5,996	77	15,252	108	21,248
	パナマックスバルカー	42	71	113	40	3,547	65	5,305	105	8,853
	ハンディバルカー	67	105	172	58	2,701	106	4,856	164	7,557
	チップ船	8	40	48	8	416	39	2,092	47	2,509
	自動車船	28	95	123	30	512	89	1,652	119	2,165
	油槽船	47	21	68	47	8,371	21	2,659	68	11,030
	LNG船(※)	66	3	69	65	5,121	3	228	68	5,349
	在来・プロジェクト貨物	15	32	47	17	336	24	351	41	688
	その他	1	0	1	1	7	0	0	1	7
その他事業	客船	1	2	3	1	7	0	0	1	7
合計		331	540	871	317	28,157	504	37,076	821	65,233
海洋 事業 (J/V 保有船)	シャトルタンカー	28	0	28	28	3,159	0	-	28	3,159
	FPSO	1	-	1	2	-	0	-	2	-
	ドリルシップ	1	-	1	1	-	0	-	1	-
総合計		361	540	901	348	31,316	504	37,076	852	68,392

※ 共有船の重量トン是他社持分を含む。LNG船の隻数・重量トンにはJ/V保有を含む。DWT・・・1,000KT